

はじめに

本県では、「次代を担う高知のこどもが健やかに育つための環境づくり」を目標として、平成17年3月に、平成17年度から21年度の5年間を計画期間とする「高知県次世代育成支援行動計画(こうちこどもプラン)前期計画」を策定し、次世代育成支援の取り組みを進めてきました。

しかしながら、依然として、人口の自然減が続くとともに、平成17年以降、特に、県外への転出者が転入者を上回る、いわゆる人口の社会減が一層進み、少子化に歯止めがかからない状況です。

また、児童虐待による死亡事故の発生や、児童及び生徒の学力・体力面での低迷、さらには、本県経済の停滞に伴う雇用情勢の悪化など、こどもを取り巻く環境は厳しいものとなっています。

こうした状況の中で、今回、平成22年度から27年度までの5年間を計画期間とする「こうちこどもプラン(後期計画)」を策定しました。

この後期計画では、本県が置かれている厳しい現状を踏まえ、保育サービスの充実を中心とした子育て支援などの取り組みに加え、「次代の親を育成するための若者の就職支援」、「基礎学力の定着と学力の向上など教育環境の整備」、「児童虐待防止対策など要保護児童への対応」など喫緊の課題への取り組みを充実強化するとともに、「出会いのきっかけづくりなど未婚化・晩婚化対策」に県として積極的に取り組むこととしています。

今後、この計画を着実に実行していくため、毎年「PDCAサイクル」で取り組みの点検、評価を行い、必要に応じてプランの見直しを行うとともに、次世代育成支援に密接に関連する「第5期高知県保健医療計画(H20.3)」や「高知県教育振興基本計画(H21.9)」、さらに、「高知県産業振興計画(H21.3)」などを着実に進めていきます。

少子化対策は、行政はもとより、家庭や地域、企業や各種団体との協働により、県民運動として取り組んでいくことが何より大切です。

県民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

次代を担うこどもたちが健やかに成長し、こどもを生み育てる喜びや楽しみを実感できる社会の実現を目指して、全力で取り組みます。

平成22年3月

高知県知事

尾崎 正直